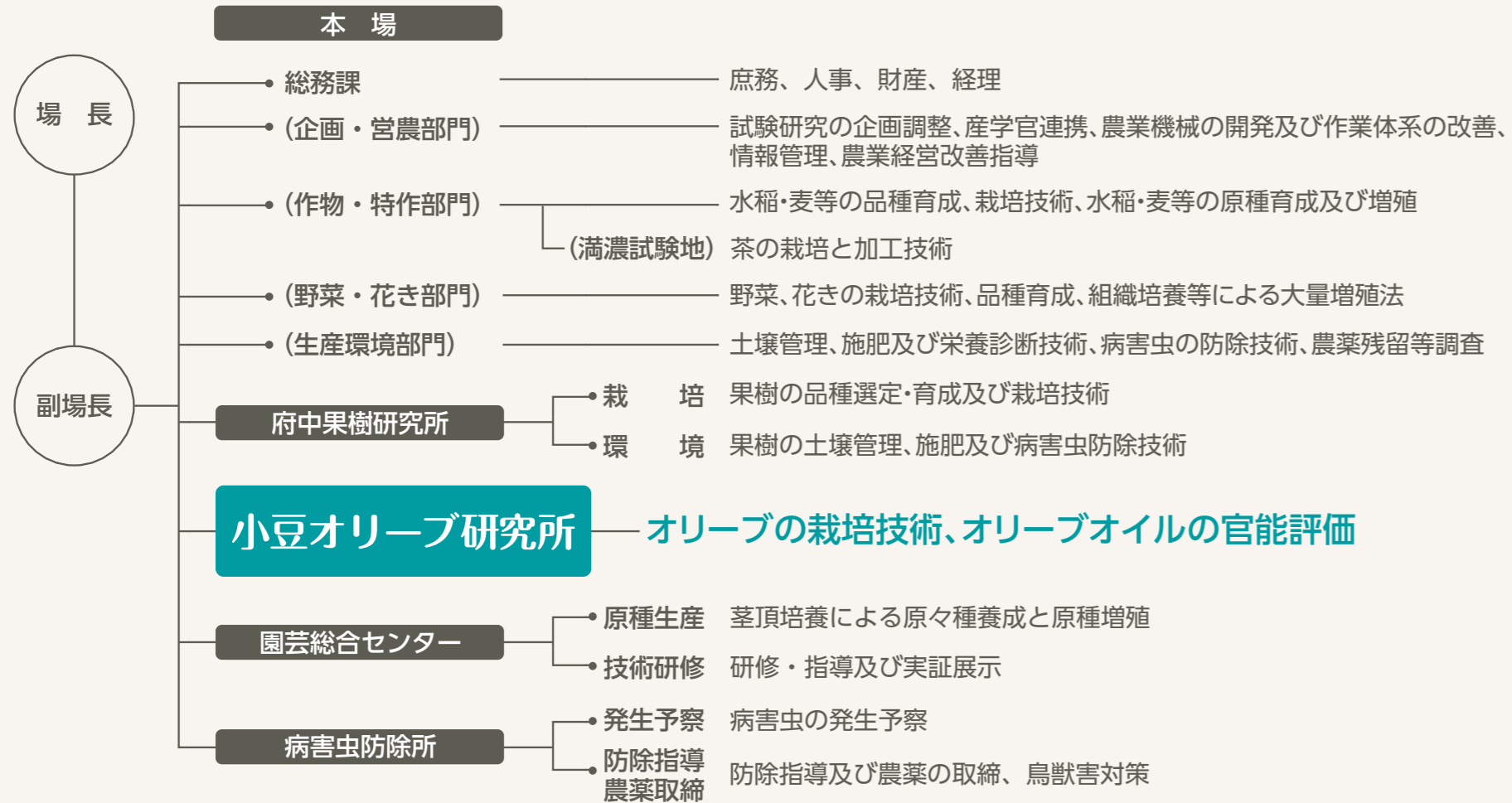


## 組織

香川県農業試験場



## 沿革

1907 明治40年	小豆郡西村(現:小豆島町西村)に、農商務省指定オリーブ試験地を創設。翌年4月22日オリーブ苗木519本定植	1980 昭和55年	西村ほ場の管理を内海町森林組合に委託
1917 大正6年	オリーブ試験地の施設を拡充(168a)	1984 昭和59年	ハーブの導入試験開始、ほ場のかん水施設を整備(池田町北地畑かん組合に加入)
1937 昭和12年	香川県経済部農林課主管畑作試験地を現小豆島町池田に創設。カンショ、麦、そ菜、花き、果樹に関する試験を開始	1985 昭和60年	西村ほ場をオリーブ公園として整備開始
1940 昭和15年	畑作試験地を県立農事試験場に移管、ほ場約1haを借受け新たに農林省指定オリーブ試験地として発足	1987 昭和62年	小豆分場本館をオリーブ・畑作資料館として公開(1993まで)、西村ほ場に「オリーブ発祥の地」の記念碑設置
1947 昭和22年	オリーブ指定試験は農林省仏生山農事改良実験所小豆島試験地として引き継がれる	1988 昭和63年	西村ほ場を香川県オリーブ公園として開園
1949 昭和24年	ゼラニウム等天然香料資源作物の導入試験を開始	1990 平成2年	香川県オリーブ公園の管理を(財)内海町オリーブ公園振興公社に業務委託
1951 昭和26年	小豆島試験地は県に吸収され、畑作試験地と合併し、香川県農業試験場小豆分場として発足。オリーブに関する試験は再び農林省指定試験となり、1966年(昭和41年)まで続けられた	2010 平成22年	花き部門を本場に統合
1970 昭和45年	小豆分場と小豆農業改良普及所の合同庁舎として小豆島農業センター館を設置	2011 平成23年	小豆分場を小豆オリーブ研究所と改称
		2016 平成28年	オリーブオイル官能評価業務を開始
		2017 平成29年	新庁舎整備 日本初となるオリーブの新品種「香オリ3号」、「香オリ5号」を開発

香川県農業試験場

# 小豆オリーブ研究所



〒761-4301  
香川県小豆郡小豆島町池田2519-2

TEL 0879-75-0033  
FAX 0879-75-1021

## 香川県農業試験場

# 小豆オリーブ研究所

## 「オリーブを極め、未来をひらく」



## 「オリーブを極め、未来をひらく」

香川県は、1907年(明治40年)、農商務省の指定により、小豆郡西村荒神地区(現香川県オリーブ公園)を「オリーブ試験地」に選定。翌年4月22日に苗木519本を1.2haに植栽し、日本のオリーブの試験研究をスタートしました。日本のオリーブ研究はこの地に始まったのです。

以来、今日に至るまで、社会や経済の動向、気候の変動に対応しながら日本のオリーブを極める試験研究を積み重ねてきました。2008年(平成20年)のオリーブ植栽100周年を経て、2011年(平成23年)に「小豆オリーブ研究所」と改称し、オリーブ専門の研究機関として、さらに大きく飛躍しようとしています。

日本のオリーブ研究のパイオニア「小豆オリーブ研究所」は、試験研究から、商品化、産業化までを視野に入れ、技術開発を事業化につなげる橋渡しを推進するとともに、開かれた研究所として未来をひらくための情報発信を行っていきます。

## 高品質安定生産に向けた研究

### 種苗増殖法の確立

実生による接木育苗成技術や太木挿しにより苗木が育成されていましたが、近年ではミスによる緑枝挿しが主流となっています。



太木挿し育苗



### 早期成園化対策

結実までの期間を短縮する技術を開発するほか、適切な間伐方法やその後の管理方法の確立に取り組んでいます。



一挙高接ぎ更新法



剥皮逆接ぎ処理

### 省力収穫対策

漬物用果実は一粒一粒手収穫を行っていますが、オイル用果実には省力収穫が可能です。ハンドレーキやエンジン式、電動式の収穫機で果実を落果させネット上で収穫することにより省力化できます。



電動収穫機



手持ち収穫用具

### 品種の開発・選定

有望品種の選定・普及のほか、本県オリジナル品種の開発にも取り組み、平成29年には日本初のオリーブ新品種「香オリ3号」、「香オリ5号」を開発しました。また、これら品種の特性を最大限に活かすための栽培技術の開発にも取り組んでいます。



香オリ3号(新漬・オイル兼用品種)



香オリ5号(オイル専用品種)

### 病害虫対策

オリーブアナアキゾウムシ<sup>たんそ</sup>の他、炭疽病等に対する防除技術の確立に向けた試験を行っています。



放飼による効果試験 有効農薬試験



オリーブアナアキゾウムシと幼虫の食入孔

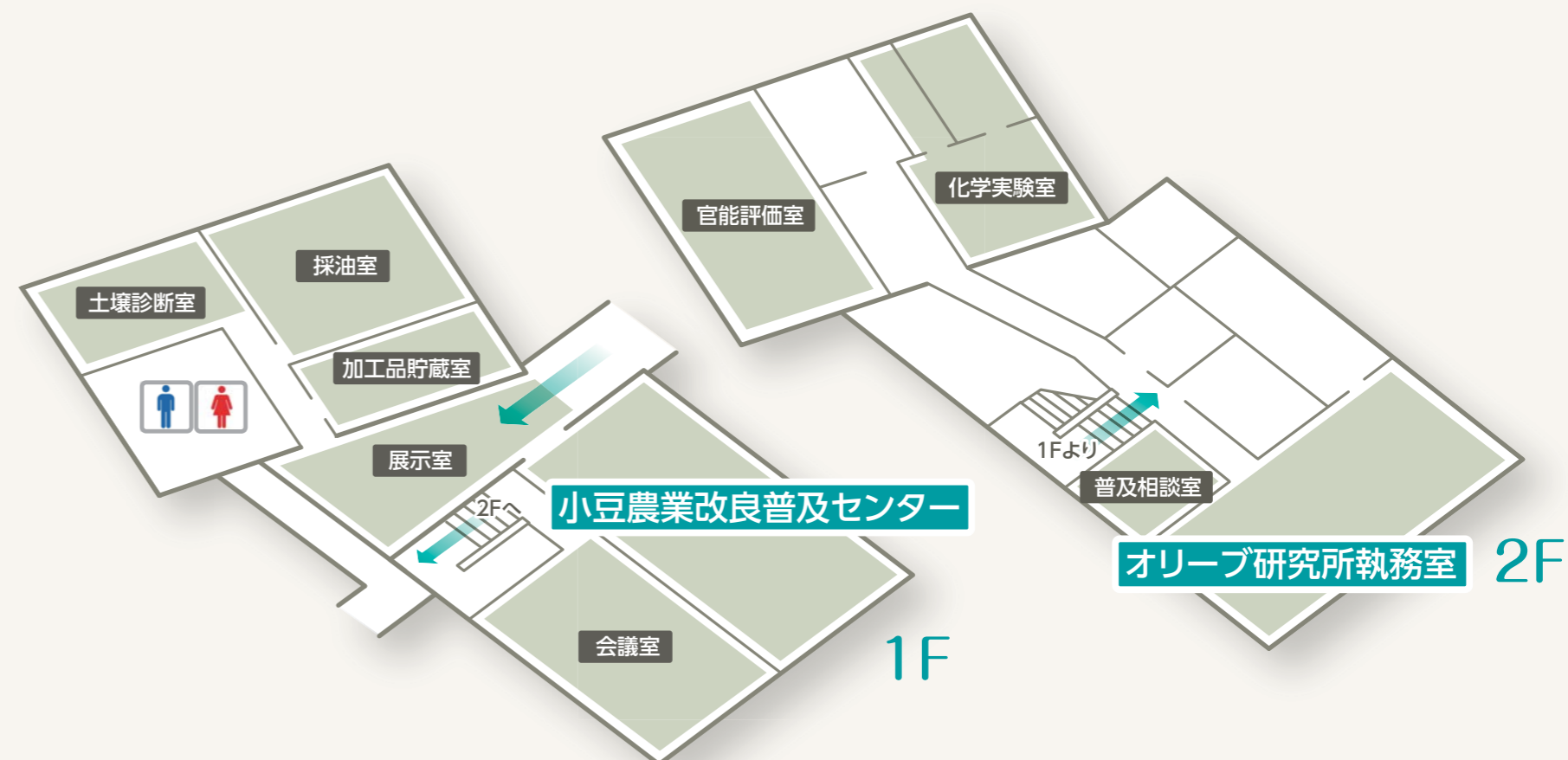
### 官能評価業務と人材育成

本研究所では、オリーブオイル官能評価パネルを設置し、IOCの規定に従って官能評価業務を行っています。そしてその結果を生産や加工での改善に生かすとともに、官能特性を的確に評価できる人材の育成も行っています。



## 小豆オリーブ研究所

オリーブの生産力とブランド力を高める研究機能、国際基準に準拠したオリーブオイルの官能評価機能、オリーブ産業の振興を支える人材育成機能を有し、今後の新たな研究課題にも対応します。



### 採油室

オリーブオイル品質評価のため、遠心分離式採油機のほか超小型少量採油機を備えています。オイルの品質評価により栽培技術や採油技術の向上、オイルの高品質化を推進します。



### 官能評価室

国際オリーブ理事会(IOC)の基準を満たした官能評価ブースを備え、世界に通用するオリーブオイルの官能評価とオリーブオイルの官能特性を的確に評価できる人材の育成を行っています。



### 展示室

研究所の歴史や研究成果、香川県産オリーブについてわかりやすく紹介しています。



### 化学実験室

オリーブの栽培、病害虫、オイルに関する実験等を通じ、オリーブの生産力を高めます。